

告・説明を受けた。

② 川内港の整備等について

当局から、これまでの施設整備状況、平成十九年度及び平成二十年度の事業実績、平成二十一年度事業概要並びにアクセス道路である県道四十四号京泊大小路線及び県道四十三号川内串木野線の平成二十一年度事業概要についての報告・説明を受けた。

③ 川内港の利用促進・港湾振興について



韓国定期コンテナ船

当局から、日中友好の船「新鑿真」寄港事業のこれまでの実績及び韓国定期コンテナ航路の薩摩川内港（川内港）コンテナ取扱実績について報告を受けた。また、韓

国定期コンテナ航路については、運航スケジュールの変更により、韓国から直接、薩摩川内港（川内港）に入港することになったことで、検疫港指定へ向け課題となっている「検疫対象船入港隻数」の大幅増が見込まれ、指定に向けて大きく前進するとともに、上海、厦門などからの所要日数が短縮されることで、コンテナ取扱量の増加や週二便化が期待できることについて説明を受けた。

④ 甌島航路について

当局から、甌島商船においては補助航路が維持されることを前提とした新船建造の意思はあるが、市による新船建造の件もあり、建造時期については決定していないこと、甌島商船で建造する場合の船の規模については速力は二十七ノット、旅客数は百五十名から二百名程度で、高速船シーホークより小型の船を想定していること、料金については現状よりも高くなると考えており、市の考えと相違があることから、今後、市と協議することとしていることについて、報告・説明を受けた。

甌島の地区コミュニティ協議会会長からは、一定の議論は行ったことから、市の方針に基づき、高速船は川内甌島間の航路でよい旨の意見、また、甌島市民一〇〇%

の総意による賛成はあり得ないことから、甌島商船との協議を進め、早期決着を求める旨の意見が出されたこと、また、六月一日から、フェリーニューこしきの燃料油価格変動調整金を廃止することの報告・説明を受けた。

(二) 南九州西回り自動車道について

当局から、本年二月十九日に開催された南九州西回り自動車道建設促進鹿児島県大会において、国土交通省九州地方整備局長から、(仮称)川内インターチェンジ・(仮称)高江インターチェンジ間のうち川内川を挟んだ区間については、平成二十四年度供用開始を目指すとの説明があったこと、次に、阿久根・川内間については、PI(パブリック・インボルブメント)手法による道路計画であり、今後、最終手続に入る旨の報告・説明を受けた。

(三) 甌島縦貫道について

当局から、県により進められている甌島縦貫道は、一般県道桑之浦里港線、一般県道鹿島上甌線及び一般県道手打蘭牟田港線の全長約五十キロメートルであり、そのうち一般県道手打蘭牟田港線については、手打工区(手打(青瀬)の青瀬トンネルが本年八月頃貫通予定であること、蘭牟田瀬戸

架橋(一般県道鹿島上甌線)については、鹿島側の一号トンネルが平成二十二年三月までに貫通すること、また、上甌側の三号トンネルについては、本年度から発注準備に取り掛かる旨の報告・説明を受けた。

行政視察報告

企画経済委員会

- 一 調査事項 観光振興について
- 二 調査先 本市甌島地域
- 三 調査日 五月二十日・二十一日(二日間)
- 四 出席委員 古里委員長、森永副委員長、杉蘭委員、高橋委員、東委員、小田原委員
- 五 調査の目的
  - 九州新幹線鹿児島ルートの中線開通、南九州西回り自動車道の整備、蘭牟田瀬戸架橋の整備、航路問題等、甌島地域を取り巻く諸問題を視野に入れ、甌島全域の今後の在り方を探ること。
- 六 調査概要